

平成も残すこと1週間を切りました。振り返って見ますとこの「妙高西条農園たより」も私が実質的に稲作りを引き継いだ平成16年から始まり今年で15年目となります。このように続けられてこられたのも、当農園のコシヒカリをご愛用いただき「妙高西条農園たより」を愛読していただいていた皆様方のお力添えがあたりと感謝しております。年号が令和に変わりますが、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年の冬の特徴は平野部では少雪で、スキー場等の山間部は平年並みの降雪があったことから春の雪解けも早く進みましたが、稲作り作業のはじまるころに時季外れの降雪に見舞われ、その後も天候不順の日が続き圃場が乾燥しないで困っています。

3/31ハウスの組み立て



4/3に10cmの降雪あり



4/10 苗をハウスに移動



4/16 ウットンバイオスタ散布



今年も美味しいコシヒカリを生産するため、耕耘前にトラクターでミネラル肥料のマインマグ C、米ぬか、粃殻燻炭、ケイ酸肥料、有機肥料の元気ゆうき君を昨年引き続き全圃場にすき込みました。

加えて今年、宮崎みどり製薬(株)様の協力の下、試験的に圃場3枚の36アールに木材の樹皮を熱処理し多数の有機酸・有機化合物とミネラルを含んだ無定形炭素肥料「サンネッカ E」を耕耘前にすき込み、元気な稲作りと食味向上を願っての試験栽培にも取り組んで行くこととしています。

春期の MINERARUMAI 畔道アート



試験すき込みのサンネッカE

ケイ酸肥料

ゆうき元気肥料

マインマグC



トラクターによるサンネッカEすき込み作業

トラクターによる耕耘作業

高田公園の桜



2019 令和元年の「みどりとふれあうフェスティバル」が5月11(土)~12(日)東京都日比谷公園で開催されます。今年もメグスリノキの製品、新潟の美味しいお酒、新鮮な山菜、肝太くん家のコシヒカリ等を持参し販売します。ブースは昨年と同じ場所ですD6。オレンジのハッピーを着て皆様をお待ちしています。

今年も「妙高西条農園たより」の発行を開始しましたので、是非一読願ひ、ご意見感想等を返信願ひます。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755  
 妙高西条農園長 池田博子  
 ☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908  
 URL : http://www.kanta.jp E-mail : ikeda@kanta.jp